

第1回 栄・大国・敷津小学校学校適正配置検討会議
第1回 難波中学校・木津中学校学校適正配置検討会議
議事要旨

1 日時

令和8年6月4日（木） 18時30分～19時50分

2 場所

浪速区役所 7階会議室

3 出席者

（栄・大国・敷津小学校学校適正配置検討会議メンバー）

寺田氏*、杉本氏*、平野氏、
上田（典）氏*、上田（敦）氏*、山口氏*、
谷口氏*、交野氏*

（難波中学校・木津中学校学校適正配置検討会議メンバー）

寺田氏*、杉本氏*、丹羽氏、上田（典）氏*、上田（敦）氏*、山口氏*、
香田氏、榮村氏、位上氏、小川氏、折田氏、坂本氏、
松岡氏、山本氏、谷口氏*、福田氏、交野氏*

*＝併任

（事務局・オブザーバー）

武市 浪速区担当教育次長（浪速区長）
三井 浪速区担当教育部長（浪速区副区長）
濱田 浪速区教育・学習支援担当課長
庵 浪速区教育・学習支援担当課長代理
富坂 浪速区教育・学習支援担当係長
細田 栄小学校校長
前木場 大国小学校校長
本田 敷津小学校校長
井岡 難波中学校校長
川村 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長
松下 教育委員会事務局総務部学事課担当係長
小杉 教育委員会事務局指導部初等・中学校教育担当指導主事（小学校）
本間 教育委員会事務局指導部初等・中学校教育担当指導主事（中学校）

4 議題

- ・学校再編整備計画の概要
- ・これまでの経過
- ・検討会議について（開催要綱、協議事項、スケジュール等）
- ・学校名案の検討手法

5 会議資料

・次第

・資料1 検討会議メンバー名簿／事務局・オブザーバー

・資料2 検討会議開催要綱

・資料3 スライド資料

「第1回 栄・大国・敷津小学校／難波中学校・木津中学校 学校適正配置検討会議」

・資料4 検討会議に関する連絡方法について

6 議事要旨

(1) 事務局より説明

- ・事務局より資料に沿って、学校再編整備計画の概要、これまでの経過、今後の進め方やスケジュール案などについて説明。

(2) 質問・意見等の概要

【校名の決め方について】

(メンバー)

- ・ 3校が統合する小学校の新校名案については、既存校名を単純に組み合わせる方式は避けるべきだ。

栄・大国・敷津の3校名をそのまま足し合わせるのは難しいため、現在の小学校名に縛られないお洒落で新しい名称や横文字の使用、3校名をうまくアレンジした名称が望ましい。

3校名を単純に組み合わせる方式では、名称の順序によって上下関係の印象が出る懸念がある。

(メンバー)

- ・ 統合後の校名には、自分たちの地域名・学校名を残したいなどの強い思い入れから多様な意見が出やすいと思う。そのため、様々な意見を言いやすいのは公募ではないかなと思う。あるいは、このメンバーの中で何かそれぞれ持ち寄ってくるというやり方もあると思う。様々な意見があってよいと思う。

(メンバー)

- ・ 学校名案を検討することや、検討会議のような場を設定することについて、PTAや保護者は知っているのか。

⇒ 学校再編自体は令和6年度から令和7年度にかけて、関係する学校のPTAにも説明しており、その際、併せて、校名案・校章・校歌などを学校適正配置検討会議の中でご意見をお伺いしていく旨も説明していることからご存じであると認識している。

このため、検討会議のメンバーには、地域代表に加えてPTA代表にも参加してほしいことを伝え、加わっていただいている。出席いただいているPTAのメンバーには本日の議事内容を所属PTAに持ち帰っていただき、内容の共有と意見の吸い上げを行っていただければと思う。

(メンバー)

- ・ 校名に関して、例えば、可能性として栄小学校の名前はそのまま残しても良いのか。

⇒ 可能性としてはあり。

(メンバー)

- ・ 旧校名をそのまま使う場合と、新しい校名とする場合のメリット・デメリットがあれば説明いただきたい。

⇒ 栄小学校や難波中学校の校名を変更せず、旧校名をそのまま新校名にするメリットとして、思いつく範囲でお答えすると、栄小学校や難波中学校の在校生は、標準服を継続して使うことも可能。

加えて、正門や校舎などに表示する校名や校章のプレート、校歌の作詞・作曲、校旗や緞帳（どんちょう）などを新調（リニューアル）することなく開校を迎える場合は、これらの経費が抑えられる。その分を再編整備に関連した他の予算として充当することも可能と考える。

また、栄小学校や難波中学校の所在地は、地元をはじめ多くの方に認知がされており、連想しやすいというメリットもある。

一方、小学校において、再編整備となる3校は、いずれも明治期に創立された歴史ある学校であり、栄小学校の名称に統一すると学校名が消えてしまい寂しいということがデメリットとして挙げられると思う。

しかしながら、統合後の学校名が既存校と同じになっても、新設校として標準服を新しく変更するケースがあり、同じ校名だから必ず標準服を継続使用しなければならない、という決まりにはなっていないことを補足させていただく。

(メンバー)

- ・ 他区では過去に、統合する3校のうち1校の校名をそのまま残して新校名として使用する際、当該地域では「吸収合併」ではないかと議論になった事例もある。

学校再編は規模に関わらず各校が対等に合わさって新しい学校をつくる趣旨なので、新しい校名にした方が子どもも「一からつくる」という意識を持ちやすいというメリットがある。

ただし、地域が納得してその校名がよいと合意できるなら既存名の継続でもよい。

(メンバー)

- ・ 栄小学校・難波中学校の名称をそのまま残す方がよい、という思いがある一方、再編は初めての経験で地域にもそれぞれの思いがあるため、意見を丁寧に聞いたうえで新しい形を含めて決めていくのが良いと思う。

【スケジュールについて】

(メンバー)

- ・ メンバーが持ち帰って地域等で「校名案の決め方」を聴き取ったうえで次回会議に持ってくる流れだと思うが、年3回の会議ペースでは第2回で決め方を決定するだけで時間がかかり、その後の公募や検討を考慮すると年度内に校名が決まらないのではないかと懸念している。

⇒ スケジュール案としては令和10年度までに校名案を決定できればと考えている。会議は学期に1回を基本としつつ、進捗次第では2学期の早い時期に前倒しし、年間3回に限定せず第4回を追加するなど回数を増やすことも考えたい。校名案は概ね第7回くらいまでに決めたいと思うが、公募には募集・集約・意見聴取などで一定の時間と複数回の議論が必要になるため、進め方を検討したい。

(メンバー)

- ・ 校名案が先に決まれば、その時点からほかのスケジュールも全部前倒しで早くなるのか。
⇒ スケジュールは、もし公募をするとなると公募をしてそこから絞り込み、さらに確定するのに、メンバーで決めるのか子どもたちの意見を聞くかなどを議論する必要があるため、余裕を見て長めに設定した。
ただし、決め方次第では早期に決定できる可能性があり、その場合は全体スケジュールが前倒しとなることも十分考えられる。

【一般公募について】

(メンバー)

- ・ 公募する場合、「区ホームページ等により募集」とあるが、どれぐらいの期間、公募するのか。
⇒ それについても具体的にご意見を伺えたらと考えている。仮に、公募期間を1～2週間と設定すると短く、1年間と設定すると長いとも考えられるため、過去事例も参考にしながら、より適切と思われる期間設定としていきたい。また、皆さんの意見はできる限り尊重したい。

(メンバー)

- ・ 一般公募とすると対象はどうなるのか。
⇒ 一般公募の対象範囲は、ホームページで公開することになるので、どなたでも対象となり得るが、例えば、浪速区在住者に対象者を限定することや、大阪市内全体、さらに全国まで広げるのかも含めて検討が必要だと思う。

(メンバー)

- ・ 大阪市で公募したらよいのではないか。浪速区でも良いと思う。

(メンバー)

- ・ 一般公募を行い、その中でいい案ができればそこからメンバーで検討して選ぶという方法も良いと思う。

(メンバー)

- ・ 一般公募に「校内のみ」と記載されているが、どのように解釈したらよいか。
⇒ いわゆる校区内、各校の通学区域内にお住まいの方、と解釈いただければ、それぞれの地域の方から公募の案を出していただければと思う。その出てきた案の中から選ぶというのはできることだと理解いただければよい。

(メンバー)

- ・ この場でもう一般公募という形で進めてスピーディーにするのも良いと思うが、保護者やPTAに完全に周知できているのかという部分に疑問がある。その辺を踏まえた上では、一旦持ち帰りというのも考えている。一般公募についてもどのようにするのか行政から考え方を示していただきたい。その方が進めやすいのではないかなと思う。例えば、大阪市内全域にするのか浪速区民全員するのか、ホームページに上げるとどこの誰が意見を入れたのかなどわからず、全く関係ない人が入れる可能性もあるため、もし浪速区に限定して公募をするのであれば浪速区在住の人、あるいはその保護者の人というような区切りにするのかなどを示していただきたい。
⇒ ホームページでの公募案について事務局からの案は、本日の段階では特に持ち合わせてはいない。一度事務局でもどのような案がいいのか、公募ではどのようなやり方がいいのかを他区の状況等を参考に考えさせていただく。それについて、次回でお話

しさせていただきたいと思う。それを確認いただいた上で、公募とするか違うやり方をするのか検討できればと思う。

(メンバー)

- ・ 公募については確かにどのようなパターンですか範囲が広い。他区では校区に該当する地域の方に限定とすることや各学校で子どもたちに聞く、特に中学生だと自分たちで考えたいという思いがあると思うので、中学校で聞いたこともあった。それらについても持ち帰ってきく必要があるのではないかなと思う。あと、公募以外の学校名案の検討手法についても、行政が進め方などを提示して、その中で決めることもあったと思う。事務局から話し合う内容を記載した資料を提示してもらいたい。

また、会議の回数を多くすることがよいとは思っていない。皆さん忙しいと思うので、過去に他区でやっていた書面開催のようなやり方も検討されてはいかがか。事務局が資料をメンバーに送付し、資料の内容についてどう思うかと地域で話し合った結果を書いてもらい、それを集約して、その結果をメンバーに知らせるという形にすると、会議そのものの数は減らせると思う。そのようなやり方も使いながら、一旦持ち帰るという意見もごもっともだと思う。この場で決めるのも良いとは思いますが、そのようなやり方もあるのではないかなと思う。公募となると範囲が広すぎて迷う部分もあると思う。

⇒ 持ち帰って、地域で話していただける資料を用意するよう検討させていただく。本日の資料をより分かりやすくし、公募について記載した資料を作成したいと思う。その資料をもって、地域でお話いただきたい。

【費用負担について】

(メンバー)

- ・ 塩草小学校と立葉小学校の統合から10年経過した際に、塩草立葉小学校の校章が変更されたことに伴って、講堂の舞台にある緞帳（どんちょう）の新調費用を地域からの寄付で賄ったことがあったが、仮に、校章を変更し、新たに作成するとした場合の費用は大阪市予算で負担していただけるのか。

⇒ 校章作成や緞帳の新調、校舎への校章設置などは必要経費として基本的に大阪市が負担する予定である。ただし、統合から数年経過後に「やはり変えたい」といった追加的な変更まで確約するのは難しく、この場では明言できない。

- ・ 統合時点で校章も決まるという理解でよいかな。

⇒ そのとおり。今後は校名案決定後、校章についても時間をかけて検討を進めていきたいと思う。

(メンバー)

- ・ 着用している標準服が、統合に伴い卒業するまでの途中で変更となる可能性があるため、入学前の弟や妹のいる保護者などから「標準服が変更になった場合、買い替え費用への補助が出るのか」「卒業まで通っている小学校の標準服を着用できるのか」「1年だけで買い替えが必要になるのか」といった具体的な質問が増えており、保護者の負担が不透明なことで、それならば、最初から栄小学校へ進学させようかと迷っておられる。そのことについても、行政での検討材料にしてもらいたい。

⇒ 学校再編整備計画には、統合時に新たな物品として標準服等が必要な場合は教育委員会が用意し保護者に過度な負担を与えないよう配慮することを盛り込んでいる。

仮に、校名が現存の学校のうちの1つのまま変わらなかった場合でも、標準服は新しいデザインにしましょうということになりましたら、教育委員会でその必要となる費用を負担するということです。

ただし、費用負担の対象は、成長して買い替える場合などではなく、あくまで学校の統廃合に伴い新たな標準服等が必要になった際の一回限りの対応である。

(メンバー)

- ・ 学校再編に伴い新しい標準服・体操服・通学かばん等へ切り替わるタイミングでは、その切替えに必要な分の費用は教育委員会が負担する。これは行政が決めた再編による切替えのため、保護者負担にしないという考え方である。一方で、新1年生として入学する際の購入は原則どおり保護者が負担し、在校生が卒業するまでの途中で標準服の切替えが発生する場合に限って教育委員会が負担する。

【次回会議について】

- ・ 公募方法をどのように示すかも踏まえて、メンバーの負担にならないように、書面での情報交換の手法も検討したい。改めて次の開催日や内容について、事務局から案内させていただく。